

# 中部地区 公民館だより

## 第153号

令和5年11月1日発行  
上山市中部地区公民館  
上山市十日町4番11号  
TEL 673-2588  
FAX 673-0379

### 地域の宝さがしウォークラリー開催 ふれあい交流でたくさんの笑顔

10月14日(土)、中部地区管内の東部6地区をクイズやゲームを楽しみながらチームで歩く、「地域の宝さがしウォークラリー」が開催されました。

みんなで歩くと  
楽しいねー



こんな場所  
あったんだねえ



たくさんの **宝** 見つけたよ

秋晴れのさわやかな天気の下、家族、友人、サークル仲間など、18チームが参加しました。5箇所のチェックポイントに立ち寄り、クイズに答えることが必須で、ほかには自由に指定の地域をまわり、気づいた“宝”を発見するウォークラリーです。「地元のことを知る良い機会になった」「各ポイントでわかりやすく説明してもらえて楽しかった」「普段は行かない所に行けて楽しかった」などの感想をいただきました。

#### ☆見つけた宝の1部紹介☆

- ・美咲町の三角点があるのが珍しい
- ・称念寺の205年も前の幽霊掛図がすごい!
- ・八日町のお地蔵さまが見守ってくれているのが宝
- ・北町の彼岸花(野に咲く花がきれいすぎ)
- ・鴨(町の中でも自然が多く残していきたい)



# 街歩きウォーキング

(増戸てつ先生と  
上山の教育施設)



今年度3回目のウォーキングは、9月26日(火)中部地区公民館運営協議会の八幡丁地区会長荒井伸一さんにガイドを務めていただき、裁縫の道、女子教育の範を示した増戸てつ先生にゆかりのある教育施設の大川学校や明新学校等跡地を巡りながら、歴史やエピソードなど楽しく説明していただきました。

参加者の皆さんから、「地域の人、建物等々、宝物なるものを知ること、住民として大事な事業だと思いました。いろいろ勉強になりました」、「同じ町に長く住んでますが、今日知った事が多く、よかったです」などの感想をいただきました。



# 街歩きウォーキング (新町周辺の散策)



10月23日(月)に山形県健康づくり推進機構理事長の東海林美佐江さんより「歩き方講習」を開催、「腕を振ること、母指球(足の裏で、親指の付け根のふくらんだ部分)で強く地面を蹴ること、またかかとから着地すること」などの正しい歩き方のお話をお聞きました。終了後、早速実践に活かせるよう4回目のウォーキングに出発しました。

新町地区会長の布川和雄さんにガイドを務めていただき、公民館を出発し、新町地区を巡り、四ッ谷公民館に隣接する大日堂まで散策しました。参加者の皆さんから、「町の中でも色々と昔の知らない話を聞く事ができ良かったです」、「同じウォーキングをまた開催してほしい」などの感想をいただきました。



# 参加者募集

参加申込はすべて11月6日(月)  
午前9時から受付します。

## 女声合唱団 上山こまきさ 演奏会

女性、約20人の迫力ある歌声をお楽しみください

日 時	11月22日(水) 開場 午後1時30分 開演 午後2時
場 所	中部地区公民館 多目的ホール
対 象	中部地区在住の方
定 員	30人
入 場 料	無料
申込締切	11月16日(木)



## アンサンブル だっちゃ 演奏会

サクソ、トランペット、ピアノの生演奏をお楽しみください

日 時	12月4日(月) 開場 午前9時30分 開演 午前10時
場 所	中部地区公民館 多目的ホール
対 象	中部地区在住の方
定 員	30人
入 場 料	無料
申込締切	11月27日(月)



## ヨガ教室 2回目

日 時	12月5日(火) 午前10時00分から午前11時30分
場 所	中部地区公民館 多目的ホール
講 師	ヨガインストラクター 鏡 実優さん
対 象	中部地区在住の方
募集人数	15人(定員になり次第締切ります)
申込締切	11月28日(火)
参加料	無料
持ち物	ヨガマットがある方はお持ちください タオル、必要な方は飲み物



健康ポイント対象事業 20P 付与

## 11月の予定

4日(土) 第2回公民館清掃  
7日(火) ヨガ教室①  
9日(木) はこべの会 学習会(映画鑑賞)  
10日(金) はこべの会 学習会(映画鑑賞)  
14日(火) 第3回地域づくり委員会  
15日(水) ふるさとふれあいフェスティバル  
22日(水) 演奏会①(女声合唱団 上山こまきさ)

## 11月の百歳体操

2日、9日、16日、30日

## はこべの会 サロン

「緑黄色野菜摂取量」と「血管年齢」の測定

日 時	11月22日(水) 午前10時から
場 所	中部地区公民館 会議室3、4
会 費	無料

## はこべの会の皆さんへ

11月15日(水)、ふるさとふれあいフェスティバルを  
上山小学校で開催します。1年生と一緒に昔遊  
びをする予定です。  
ぜひ、参加してください。

# 地域の宝再発見

NO.86

のぶまさ

## 藤井松平氏シリーズ3. 「松平信将侯」～4. 「百姓の困窮、見る目原騒動での要求」

お城では町方吉野屋、寒河江屋、亀屋に17日からの米の放出の指示をしたが、後手でした。そこで大庄屋山田藤衛門を呼びだし金貳百両、米三百俵の目録で見る目原にて郷民を宥めるように指示したうえに徒目付、物見役、忍びを本庄郷に手配し百姓の動静を探らせると、稻藁、松葉、伐採木の篝火のなか見る目原での集会の様子と、騒動の主因は中老渡辺小隼人、郡代金子仁兵衛への日頃の恨みであると役所に注進しました。家老山村は、実直な代官神尾忠右衛門と大庄屋山田藤右衛門、さらに人望ある藩医宇留野春庵を呼び寄せて名代として派遣し郷民を宥めよと指示しました。別に大目付には中老渡辺小隼人、郡代金子仁兵衛の傲慢な振る舞いの恨みから起こっていることを鑑み蟄居を指示、更に市内防備として大手門初め家中への門を厳重に固めさせました。もし群衆が乱入して渡辺、金子両家への襲撃は勝手次第とするが、付け火、狼藉の類いは斬り殺して構わないと命じたので町衆は上を下への大騒ぎとなりました。

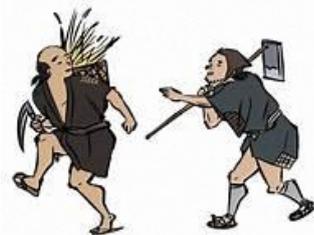
御殿医宇留野春庵、代官神尾氏、大庄屋藤右衛門三人が早馬で見る目原に駆けつけ大勢の中に割って入ると、宇留野春庵の登場で騒ぎも一時静まり、春庵が高台に立って御家老の指示で皆の衆の願いを聞きにきた、身命にかけて取りはからうので憚りなく申し出られよと云うと、百姓衆は思案したあと弁舌達者な者14、5人が訴えだしました。その趣旨はかいつまむと分かりにくくなる部分がありますが、以下の通り。

(一) 年貢一反歩につき均して一、二升の上乗せ頭巾(余計搾取)があり、古来通りに止めていただきたい。(二) 米の下し米買い付けは古来の通りに時相場をお願いしたい。(三) 領外からの津留(荷留め)は収穫期に限定し、百姓らが三升、五升の小分け売り買いを自由にしていただきたい。(四) 萱・材木など役所が買い付ける折りに納め方時間制限で困惑している。(五) 農民の枯れ枝を持ち帰る折りに賄賂要求をやめていただきたい。(六) 見廻り役人

が村庄屋宅に立ち寄り飯酒の賄賂要求がある、納め方小役人を取り締まっていたきたい。

(七) 往来伝馬は町方役馬四十疋のきまりを今は十三疋にして不足分を櫓下や惣郷賦役と押しつけている、商人荷物は十三疋で付け送りしているのので駄賃ある商人荷送り馬三十疋にお願いしたい。(八) 郷夫(臨時)雇用俸禄を定め、年季を限っていただきたい、小作百姓は年貢を納められず、江戸詰め郷夫二十俵、国勤め郷夫六俵を中間(軍列下役夫)雇用で新米給付されるが、江戸詰二年半、国勤め五年勤めると年貢を免れて帰村後に田畑を相続できた。最近では給金が三分の一となり永年奉公すると老いた上に田畑は荒れてて百姓勤めは叶わなくなる。聞いていた代官神尾忠右衛門は「尤も至極、国郷夫、江戸詰め、軍役の中間郷夫は藩を下支えする役を負っているのだから生活立ちゆく様の取り計らう」と答え書き認めた。(九) 毎年春の「宗門改人別帳」は書き直しさせられて手間取っている。「宗門改帖」文字ゆがみを寛容にしていきたい。(十) 上役下役人衆で私欲の御仁が居る、百姓の困窮哀れみもなく扶持米、米売買の利ざやを稼ぐことに専心し、番所を増やし横道に柴垣を結い袋米や茶・塩の流通を厳しく統制している。また、高湯に米運送で荷役に出かけても雪中など泊まり賃も発生し負担が多い。これらは中老渡辺、郡代金子の指図と確認している。上に不忠、下に仇となる謀悪の御仁、小役人に斧一丁宛進上したいと一同は色めき立ち大声で訴えました。

以上が見る目原百姓衆の要求です。



画は「見る目原騒動」関係ありません。

※参照文献： もっぱら「奥海道五巴」⑭などを参照しました。その他に「上山市史」、「上山三家見聞日記」⑰、「上山問見聞隨筆」⑱⑲を参照しました。